



人、ひとりひとりの心地良き

特別養護老人ホームみちのく荘

まるめろ通信

【まるめろ通信 / 第99号】

発行日 / 2014年3月30日
発行 / 青森社会福祉振興団
十二林みちのく荘 0175 (23) 1600
金谷みちのく荘 0175 (23) 0781
みちのくクリニック 0175 (23) 1171
城ヶ沢みちのく荘 0175 (24) 3163
Eメール / marumelo@michinokuso.or.jp

私の小径
こみち

昔も今も、唄は元気と生きる希望を与えてくれた。
今日も友人と一緒に歌います。

新谷 ひささん 大正14年生まれ 88歳 / 青森市出身



「恥ずかしいけど、上手だ上手だと言われれば気持ちが良いんです。」と話す新谷さん。

みちのく金谷アイサービスセンターを週2回利用している新谷さんは、青森市出身で6人兄弟の末っ子として生まれました。教員をしていた兄に憧れて教師を目指し、小学校の教師としてむつ市に移住しましたが、戦争と結核を経験して一度故郷に戻りました。その後、30歳を過ぎた頃に教師を辞めて親戚が住んでいるむつ市に嫁ぎ、小さな食料雑貨店を営みながら2人の息子を育てました。「休みは無し。仕事と家事に明け暮れて、ゆっくりと息をつく暇がなかった30年でした。」

特に右半身への痛みが慢性化していきました。なかなか良くならないため、病院に行くと、脊柱管狭窄症(せきちゅうかんきょうさくしょう)と診断され、立ち上がりや歩行も一時困難となりました。しかし、みちのく金谷アイサービスセンターに通い始め、友人と話をしたり、カラオケを楽しんだりするうちに気持ちも明るくなりました。歩行訓練にも前向きに取り組みようになり、また、施設内のエステで肩もみをする事で、少しずつ体の機能の回復もしました。新谷さんはみちのく金谷アイサービスセンター以外にも、週2回、みちのく訪問介護ステーションのサービスも利用しています。しかし、なんでもヘルパーに任せるのではなく、食事の用意や洗濯物など、自分でできることは多少時間が掛かっても自身で済ませます。「やらなくては、ほんとに何もできなくなってしまうからね。」そんな新谷さんの今の目標は、外に出て歩いて買い物に行くことです。「遠くまで行けなくてもいいの。近所まで歩いて出かけたくなるのさ。」雪解けになり外を歩けるようになるまでは、カラオケルームで歌声を響かせながら、青春真っ只中の日々を過ごします。 記 / 向井 正大



● 癒し処ご案内
時間 / 9時～16時30分(最終受付16時)
電話 / 0175-23-1171 (みちのくクリニック)
担当 / 青木
※みちのくクリニック受付窓口でも予約可。

癒し処

みちのくクリニック内

みちのくクリニックでは、青森県内初のタッチセラピー「はなナーシングセラピー」を行っています。はなナーシングセラピーは、看護技術をもとに「相手に沿う」ということを念頭に、体の流れを正常に近づけること、最小限の力で回復する力を最大限に引き出すお手伝いをするを意識しています。アロマセラピーやリフレクソロジー、リンパドレナージュ、整体などを取り入れた独自のやさしいタッチ(マシユマロタッチ)で、年齢、性別や病気の有無に関係なく、どなたでも受けることができます。ふわふわと漂うようなタッチを体感してみませんか。

- メニュー
- むくみの手当て
20分：1500円
40分：2800円
 - 頭や顔のツボ押し
20分：1500円
40分：2800円
 - 足のマッサージ
20分：1500円(足のみ)
40分：2800円(足裏・ひざ下)
 - 一か所集中
10分：750円
40分：2800円
 - 全身リラクセス
40分：2800円
- 65歳以上の方は各メニューが200円引きになります。また、全メニューが、プラス300円でアロマオイル使用に変更できます。

みちのくクリニック

〒035-0067 むつ市十二林 17-1 TEL 0175-23-1171

2013/12/24より、時間変更しました。
午前の部 9:00～12:30
午後の部 14:00～18:00

診療科 内科・リハビリテーション科
クリニック併設：リハビリテーションセンター
(外来リハビリ、訪問リハビリ、デイケアセンター)
診療日 月曜～金曜(水曜午後は訪問診療)
休診 / 土日祝、年末年始(12/29～1/3)

みちのくクリニック院長 / 川部 汎康

やさしい街づくりを応援しています。

快適な環境づくりのお手伝い

○介護用品のレンタル・販売
(車いす・ベッド・リハビリ機器他)
○住宅改修

株式会社 シルバーサービス
〒035-0033 むつ市横町 2-9-13
TEL 0175-22-9511

有限会社 東北環境サービス
TEL 0175-22-3927

住まいの
お掃除屋さん



海・山なくして、下北半島は語れない。

総合食品卸問屋

株式会社 大市

青森県むつ市大曲二丁目14番33号

TEL 0175-22-5525
FAX 0175-22-7172

「むつ市」の里

平成12年に旧脇野沢村(当時、山崎隆一村長から公設民営型の高齢者福祉施設「アィサービスセンター」在宅介護支援センター、訪問介護、訪問入浴介護の事業運営)として、施設の管理運営を委託されたのを皮切りに、その後、平成14年に脇野沢村民待望の特別養護老人ホーム(定員30名)ショートステイ(10名)の増設により、ようやく脇野沢村の総合的な高齢者福祉の基盤が整備され、手探りの中で、村民に対して下北地域や県内他地域に劣ることがないように必死でサービスの安定供給に努力してきた14年間でした。



平成17年に脇野沢村がむつ市に編入された後も、この「いこいの里」は、むつ市から引き続き公設民営型による管理運営を任せておりましたが、平成18年からは、新たな「指定管理者制度」に基づく管理運営に変更され、いよいよ平成26年3月31日をもって、本法人としての業務一切が終了となり、平成26年4月1日以降この建物は、他の法人に無償譲渡されることになりました。

14年間数多くのご支援、ご協力を賜りました脇野沢地域住民の皆さま、施設の入居者・利用者の皆さま、そして家族の皆さまに対しましては、心から「ありがとうございました!」の感謝を込めて、本法人として「いこいの里」の建物に関するすべての管理運営の役割から幕を下ろさせていただきました。と思います。

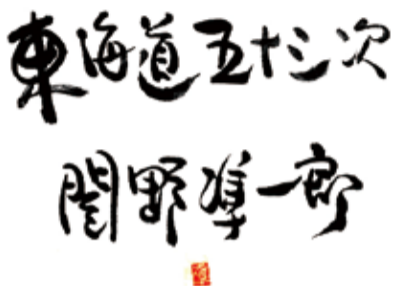
101歳、おめでとーひんがいます!!

1月24日、ケアハウスみちのくグリーンリブに入居されている岡本ハツヨさんが、101歳の誕生日を迎えました。

この日の昼食は、赤飯や海老しんじょうのお吸い物、干しカレイやタコのお刺身など、岡本さんがリクエストしたメニューでした。友人たちと写真を撮ったり、会話を楽しんだりして賑やかな一日を過ごしました。



(写真中央/岡本ハツヨさん) 職員一同、心よりお祝い申し上げます。



平塚(制作/1967年)

まるめる美術館では、4月より関野準一郎版「東海道五十三次展」を開催します。作品数は全55点、2回に分けて展示します。日本橋から始まり、京都の冬景色で終わる関野氏の代表作です。お誘いあわせの上、ぜひお立ち寄りください。

- 第1回 4月4日(金)~7月1日(火)
○第2回 7月4日(金)~9月30日(火)
開館時間/10:00~16:00 休館日/水曜・木曜
資料代/300円

みちのく荘メディカルケアセンター内
まるめる美術館
住所/むつ市十二林17-1
●特別養護老人ホームみちのく荘
○スィミングアカデミーむつ
○むつ市役所
○下北文化会館

社会福祉施設経営管理者海外研修 クロアチア、ドイツ報告③

特別養護老人ホームみちのく荘 園長 中山辰巳

2013年9月2日から9月12日、みちのく荘の中山園長が海外の福祉施設を訪問してきました。その報告を全4回シリーズにてお伝えします。

この施設は、私にとって今回の研修調査の中、良い意味でも悪い意味でも最も驚愕した一つに数えられる。

まず、①国からの建築費及び運営に關する補助は全く無い②課税されている③基本的な人権を保障するケアではない④人件費が安い⑤家族経営である。

開設は14年前になり、その女性オーナーは元看護師で、対応にあたった娘さんも好印象であった。利用者に対して「ご自宅にいる様に」を一番に考えていると話されていた。

入居者の平均年齢は約80歳、最高齢者は97歳である。医療サービスは本館で行っているが、医師は常駐していない。他のスタッフは看護師4名、介護士11名、理学療法士1名、調理員3名、管理員2名を配置している。

65名の利用者の内45名は褥瘡そうは無い。病院も受け入れない高齢者も入居しており、24時間ホスピスでもある。居室は2~4人部屋が主で1人部屋もある。

さて、見学した際、大変驚いた事は、すべての写真撮影、つまり、入居者も含めて自由に構わないと言った第17日本や欧米では考えられない見学風景なのである。人権意識が欠如しているかと思えない。国からの支援は無く、全て自己資金と銀行からの借入であり、自己所有の土地・建物の他賃賃もある。



小規模型施設のヴェリコ・マラムラカ高齢者福祉施設。

入居のほとんどが年金受給者でありリーマンショック以来、利用料金を下げた。国営施設の利用料金は比較すると約2分の1であり、この施設には費用が余り掛からない国営施設への入居待ちを希望している高齢者も少なからずいる。ここでもクロアチアの裏社会の現実を見た様な気がした。

コネや賄賂が必要悪なのだろうか? 富める人たちは、費用も安く快適な施設に入り、貧しい人たちは、全くその逆であると言ふ負担と給付が極めて不公平であると思われる。

何故なら、日本でも高額な有料老人ホーム等があるがケア内容と利用対象者から見ると、この施設は日本の特別養護老人ホームに近いと想像するからである。居室はベッド柵が普通に付いており、狭い空間に5人以上も入っている。何か40年以上も前の日本の高齢者施設を思い浮かべた。

最も驚いた事は、車イスでベランダに居た女性の高齢者を見た時、二人とも紐で動けないように拘束されその内の一人は涙を流しながら何かを訴えていた。そこへ、オーナーの娘さんが登場しにこやかな笑みを浮かべながら私たち数人と一緒に写真に納まろうとしたのである。

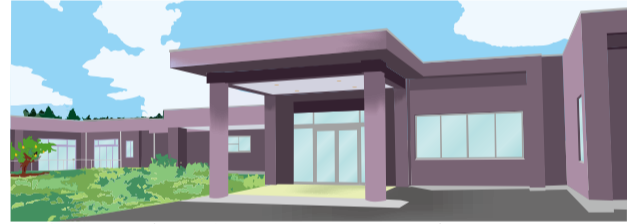


身体拘束は活動量を減らせ、衰弱や認知症も進行させます。

おそらく人権のなんたるか? を知らない。悪気は決まっていなくていい。それは、入居者一人一人には親切で丁寧な対応していたからそう思うのであるが。そして、人件費であるが、約30%の事? 異常な低賃金ではなからうか? たたクロアチアでは、オーナーから給料の他に、直接現金を数万円支給されることも聞く。果たして真偽は如何に? 事実であれば、税金逃れか? それとも悪しき慣習なのであろうか?

何れにしてもこの国の闇は深い! (次号に続く)

天然温泉付き
城ヶ沢みちのく荘、住宅型有料老人ホームへリニューアルオープン!!
当法人初の有料老人ホーム「住宅型有料老人ホーム城ヶ沢みちのく荘」が4月1日オープンします。
当施設では、生活面の多くをサポートする充実の支援を、低価格で提供します。
一人暮らしに不安を感じている方や、介護が必要でも自分らしく自由に暮らしたい方などにお勧めです。また、必要に応じて訪問診療や訪問リハビリといったサービスも受けることもできます。



介護・医療・食の連携によって、安心のサービスを提供します。

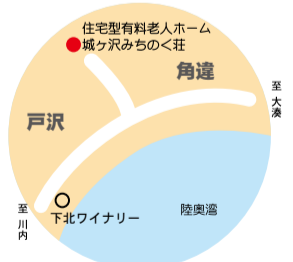
- 暮らしの健康をサポート
・真空調理された食事を提供し、食の面から健康サポートします。
・天然温泉は湯治場としても利用でき、癒しの面から健康サポートします。
・自然を満喫できる場所で、澄んだ空気が心身の健康サポートします。
・お出かけに便利な無料シャトルバスが、心身のリフレッシュ機会をサポートします。
・24時間体制で職員を配置し、暮らしをサポートします。

●利用対象者
要支援1、要支援2、要介護1、要介護2のいずれかの要介護(支援)認定を受けている方が対象となります。

●利用料金
入居料金は部屋代、食費、光熱水費、管理費込みで、57,500円~72,500円です。(入居される部屋が、個室か多床室か等によって料金が変動します。)

介護保険サービスを利用する方は、別途料金になります。

▼お問い合わせ先
みちのく訪問介護ステーション
電話/0175(23)9100
担当/野中・畑中



やさしい街づくりを応援しています。

下北文化会館主催事業
大ホール開放Day
ピアノの練習はもちろん、歌、ダンス、楽器練習等、様々な用途にお使い頂けます。
大ホールを独り占めできるチャンス!
期間:4/26(土)~5/6(火) ※休館日を除く
時間:9:00~17:00 料金:1時間2,000円
下北文化会館
〒035-0072 むつ市金谷一丁目10-1
☎0175-22-8411 http://shimobun.com

水産物・青果物・食肉・冷凍食品等の卸売
有限会社 ニツシヨク
青森県むつ市大曲二丁目13-35
電話(0175) 22-7222
FAX(0175) 22-7081

新型エルグランド デビュー!!
株式会社 むつ日産
むつ市大字田名郷字赤川/内釜本110-4 TEL 0175-22-2284

24時間テレビより
福祉車両が寄贈されました!!
2014年2月18日、24時間テレビピチャリティー委員会から、当法人へ入浴車を寄贈して頂きました。
この入浴車は、みちのく訪問入浴介護ステーションで使用します。
浴槽の特徴として、入浴タンクが浴槽内側に内包されています。これにより、利用者をより安全に移乗することが出来ます。
大切に使用して頂きます、ありがとうございます。